

糖尿病教育入院を行う方へ

神戸大学糖尿病・内分泌内科では、糖尿病の教育入院を行っております。
この入院では、**患者さん自身が主体**となり、**医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・臨床検査技師・臨床心理士**が連携してサポートさせていただき、**目的をもち充実した生活**を過ごしていただきます。

入院の目的は、主には下記になります。

- ① 糖尿病の知識を得る
- ② 糖尿病の病型・病態を調べる
- ③ 糖尿病の合併症を調べる
- ④ 各患者さんに最適な薬物療法を見つける
- ⑤ 現在の生活を振り返り、退院後の生活の目標をさだめる

① 糖尿病の知識を得る

下記の通り、**糖尿病教室**を行っておりますので、積極的にご参加ください。
糖尿病教室以外にも、個別に知識の提供を行わせていただきます。

	月	火	水	木	金
午前 10:15 ～ 10:45	お休み	糖尿病とは (医師)	食事療法 (管理栄養士)	合併症 について (医師)	検査について (臨床検査技師)
午後 14:15 ～ 14:45	お休み	薬物療法 (薬剤師)	低血糖 シックデイ 災害 (看護師)	運動療法 (理学療法士) または 糖尿病と心理 (臨床心理士)	フットケア (看護師)

② 糖尿病の病型・病態を調べる

病型：1型糖尿病や、2型糖尿病、その他の原因の糖尿病が調べます。

病態：インスリンを出す力がどれくらいあるかについてや、インスリンの効きが悪くなっているかについて調べます。

検査：朝食前後採血・グルカゴン負荷試験・24時間蓄尿検査

③ 糖尿病の合併症を調べます

糖尿病の合併症は、主に下記があります。

3大合併症 “し・め・じ” → **神経障害・眼（網膜症）・腎症**

その他の合併症 → 虚血性心疾患、脳梗塞、末梢動脈疾患、
足のトラブル（白癬(みず虫)、胼胝(たこ)、壊死など）、歯や歯肉のトラブル など

合併症の検査	
神経障害	CVRR（呼吸により脈拍がどれだけ変化するかを調べる検査） 神経伝導検査、シェロング試験（起立時の血圧の変化を調べる検査）
眼（網膜症）	眼科受診
腎症	蓄尿検査
その他の合併症	心電図、心エコー、トレッドミル負荷試験（運動時に心電図測定） 頸動脈エコー、ABI（上肢と下肢の血圧測定）

その他に、骨密度や腹部エコー、必要に応じて胃カメラ なども行います。

④ 各患者さんに最適な薬物療法を見つける

糖尿病の病態の把握を行ったうえで、**最適な治療薬の選択**を行います。

⑤ 現在の生活を振り返り、退院後の生活の目標をさだめる

入院を機会に、これまでの生活を見つめなおし、より良い血糖コントロールと生活の質を目指して「**退院後の生活の目標をさだめる**」ことが非常に大切です！
糖尿病の“食事療法・運動療法・薬物療法”について学んだうえで、**各患者さんに合った療養生活の過ごし方を一緒に考えていきます。**

食事

入院前に、食事内容のききとりを行います。
入院中に、栄養相談をうけ、実現可能な目標を決めていきましょう！

運動

入院中に、運動プログラムに参加していただけます。**(詳しくは別紙参照)**
退院後に、どのように運動を継続するか、目標を決めていきましょう！

薬

入院中に、各患者さんに合った薬の管理方法を検討します。
退院後に、どのように薬物療法を継続するか、目標を決めていきましょう！

入院生活にあたり、不安もあるかと思いますが、入院のルールを守っていただきながら、充実した糖尿病の学習ができるようにサポートさせていただきます。

糖尿病チーム一同でお待ちしております！

